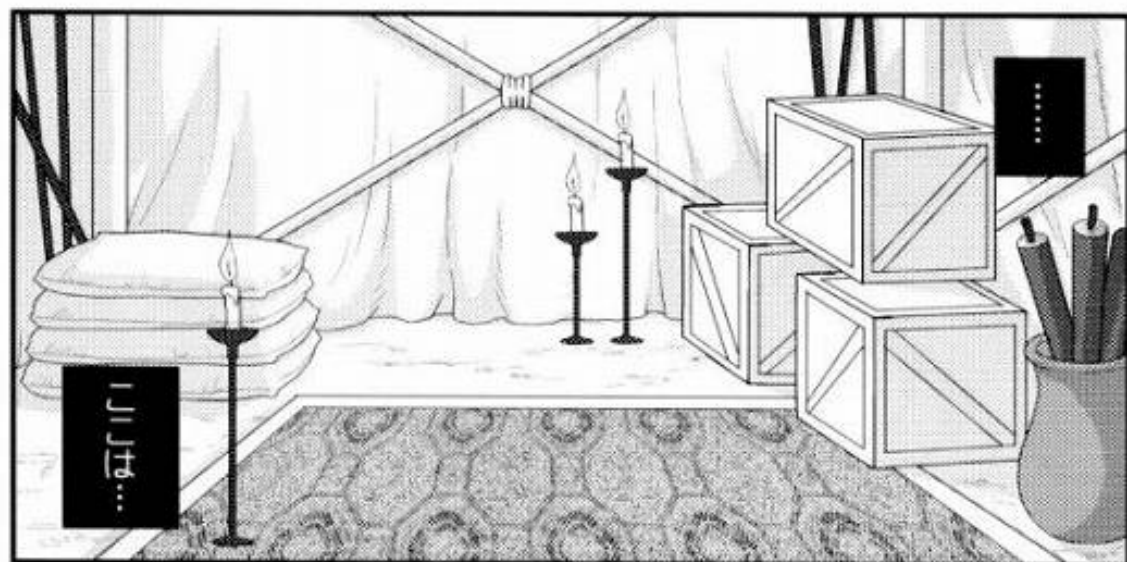


成年向



堕ちた果実

禁姫元監王



ん……



ようやく
目を覚ましましたか





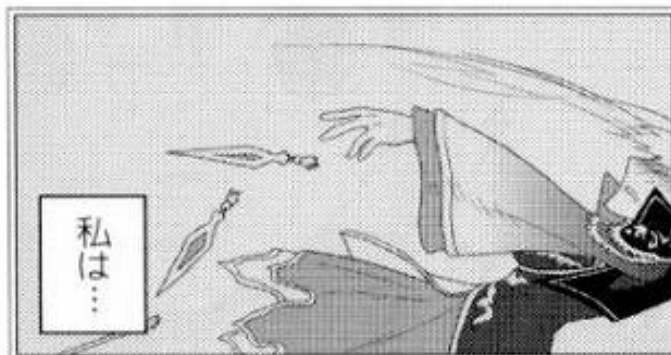
鍾会…殿…!



……っ!



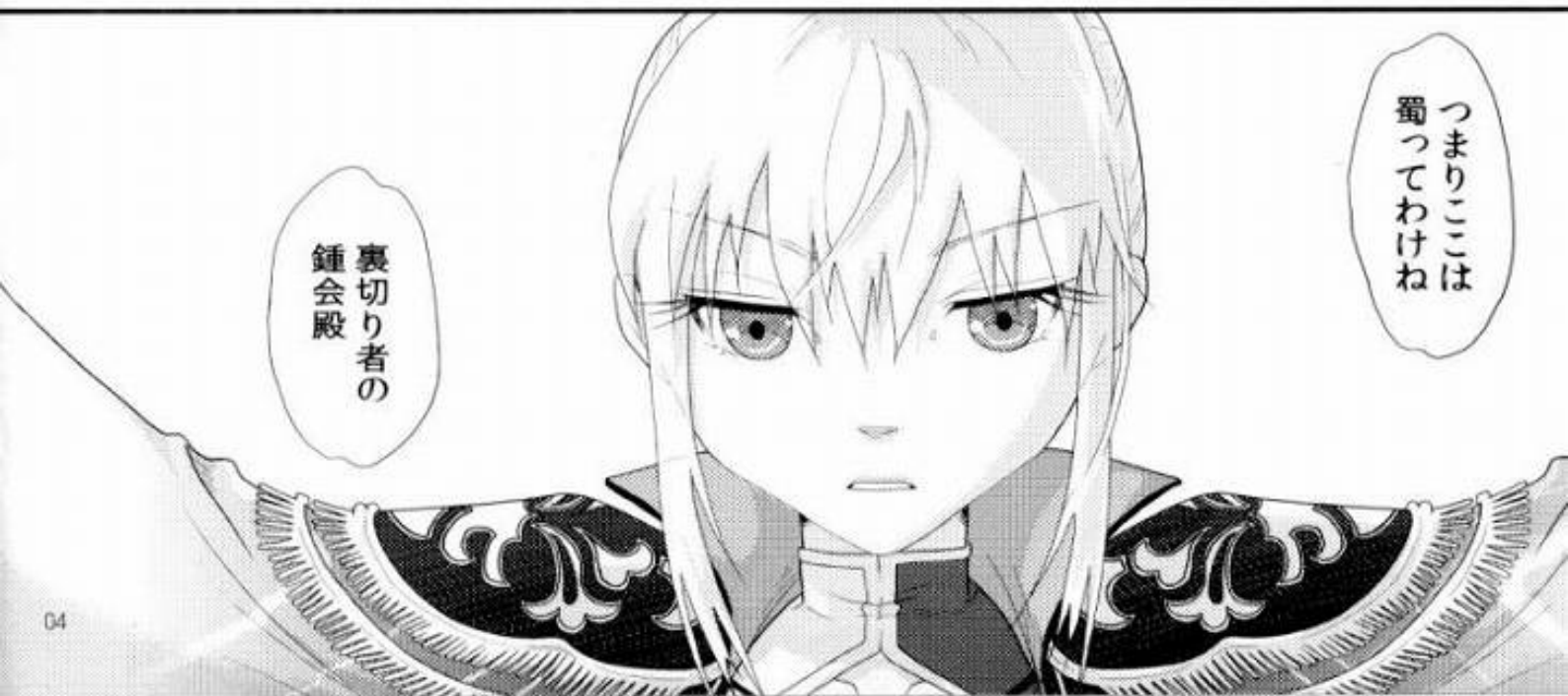
あの時



私は…



そなた



つまりここは
蜀ってわけね

裏切り者の
鍾会殿

裏切りとは
人間の悪い…

こんな事を
しても無駄よ

私は自分の才能を
活かせる所に
来ただけですよ

すぐに
子上殿が助けに来る

さあ
どうですかね？

あちらには私の部下を
潜ませて噂を立てるよう
指示してありますから

「元姫殿は
沢に落ちて死んだ」と

すぐに来る

子
上
殿
は
カ
ン
が
い
い

.....

そ
う
し
た
ら
き
つ
と
言
う
わ
ね

「己の器も計れない
凡愚が」って

フ
ン

言
っ
て
い
ら
れ
ま
す
か
ね
っ

い

い
つ
ま
で
そ
ん
な
強
が
り
を
...

!!
ア
ッ
ッ
ッ



服の上からでも
ハッキリ分かるくらい
乳首が勃起してますよ…



どうです？
効いてきたんじゃないですか？



あっ

差し上げますよ！



さぞ窮屈でしょう
すぐに脱がせて…

見られてる…っ
いや…っ



でかいとは思ってましたが
やはりコレで
押さえつけてたんですね

まさか
これほどの
大きさとは…



あはっ





……
気持ちよくなんか……!



おや
声を我慢
してるんですか



まあいい

では私が
気持ちよく
してもらいますよ



いいですよ
遠慮なくあえいで……
気持ちいいんでしょう？

ちゃほっ



あっ!!

乳の間でっ!!



そのいやらしい



ほら…
乳にもたっぷり
薬を…



や…っ

いやあ…っ!



三国探しても
こんな事の出来る女は
いませんよ元姫殿…っ



この乳で
司馬昭もさんさん
楽ませて
やったんでしよう?

薬がヌメツて
まるで膣に
挿れているようだ…っ



溶けそう…っ



胸が…頭が…
あ…あそこが…

ああ…
ごそっ…
ごそっ…
こんな…

あア……ッ

おやようやく
可愛げのある声が
出てきましたね

い……いやア……ッ

ズキョウ
ズキョウ

いいですよ……
もつと鳴けっ!!

あ……熱い……っ

胸の間……
おちんちんが
コズれて……っ

ズキョウ

はア

ズキョウ

ズキョウ

ズキョウ

ズキョウ!!

射精^でるっ!

うあ……っ

お……っ
おお……っ……



まだ
ネを上げてもらっては
困りますよ

私もだいたいぶ
溜まってますからね



ああ…いや……

こんな…
顔中…
ドロドロに汚されて…っ！



いや……！
やっ

子上殿以外の
なんて…っ！

や…



今度はその
可愛いおクチで



お願いしますよ



さあ
元姫殿





は
そろそろ
出しますよ…
は

カク

今度は…
飲んで
もらいましょうか…
は

カク
カク

カク

カク

いや…っ
いやあ…っ



ほらっ
もつと唇と舌で
締め付けてっ

いつも司馬昭に
してるように
すればいいんですよ

カク

カク

こんな
裏切り者のを
無理矢理…

悔しい…
子+殿…っ



んおっ

んぶっ

おぶっ

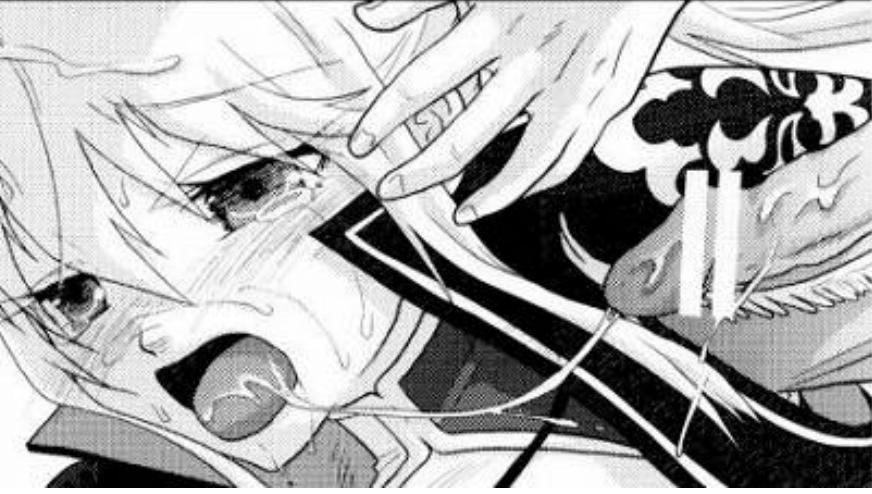
ンゴッ
ンゴッ

ンゴッ
ンゴッ



射精るぞっ！

ズッ
ズッ





さあそろそろ
これが欲しいんじゃないですか？



よく飲めましたね
濃くておいしかった
でしょう？

きん



あ…
あんなに…
薬…っ

なかに…
入れられたら…っ！



裏切り者の
鍾会なんか！…！



簡単に…

飲み込んで…っ

犯される…



助けて
子上殿…っ

や…やめ…



もう
あてがうだけで…

司馬昭のデカブーツを
毎晩くわえこんでるくせに
よく締まる…っ！

肉ヒダが絡みついてきて
これは…極上モノだ…っ！

いやあああッ



熱い…っ

熱い…っ

薬のせいなの…？



なか…
痙攣してる…っ



なかに
腫もさつきから
キユウキユウ
しっぱなしで...

いやいや言う割に
腰が動いてるじゃ
ないですか



誰があなたみたいなの
卑怯者に...!!

気持ちよくなんか...
ない...っ

気持ちよくて
仕方ないんでしょう?

感じてるんでしょ?
悔しいくらい...

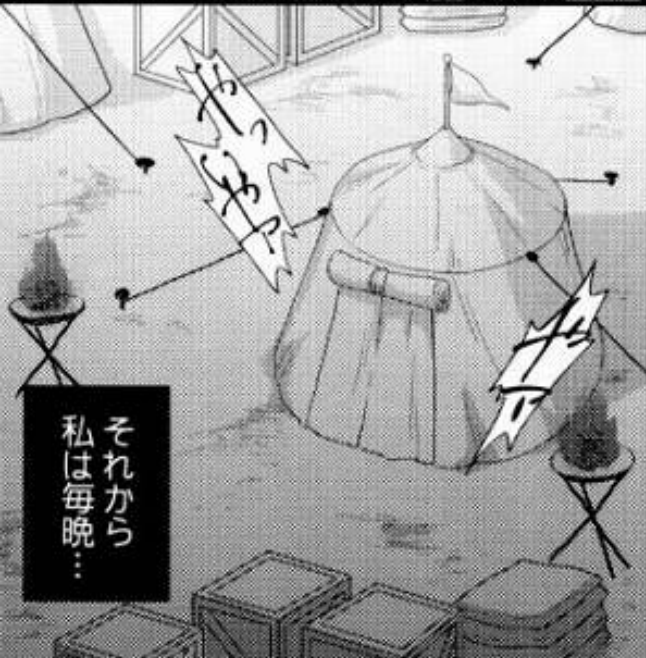
おぼろおぼろ

今のうちに
せいぜい強がって
おくんですわね

どうせ
そのうち…

ヨダレを垂らして
イチモツをねだり出す
メス犬みたいに
なるんですから…!







ほら お薬ですよ…

はっ…あ…



毎日毎日
執拗に
薬を飲まされ…

塗りたくられ
挿入されて…



まだ抵抗する気ですか
こんな
濡らして行くせに…!!





お願い……っ

これ以上
犯されたら……
私……私……っ！

もう……っもう……
許してえ……っ！

ガク

ガクッ

ガクッ

ガク
ガク

ガク
ガク

ガクッ



落ちる……!!

ア

ぎゅっ

ぎゅっ

ア

ぎゅっ

ア

ア

ア

ア



ア

ア

ア

ア

ア

ア

ア

ア



ア

ア

ア

ア

ア

ア



さあ おクチで
きれいにして下さいよ...

いやらしい気持ち
が溜まってく...

私のなか...

いつも
あそこが
ジンジンする...

わんわん♡

わんわん♡
わんわん♡

ちゅちゅ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

鍾会殿の
おちんちんが
恋しくて...

オマ○コに...

もう指じゃいやあ...

元姫のいやらしい
トロトロオマ○コに...っ
鍾会殿のチ○ポ
ぶちこんでえ...っ!

あーっ♡

上手におねだり
出来ましたね…

ははは

ははは

物物

ココ

ココ

そんなに欲しければ
自分から
またがって下さい…

にゅ…

にゅ…

んっ
んっ

にゅ…

にゅ…
にゅ…

あーののの
あーののの
あーののの



ずいぶん
素直になったものだ……!

もう司馬昭の事は
忘れたんですか?



だれ?



しば…
しょう…?

は

は

ハハハッ！
本当に
忘れてしまったんですか！

ハハハ…！！

さあ今日も
たっぷり腫出し
してあげますよっ

きもちいい…
きもちいい…っ！







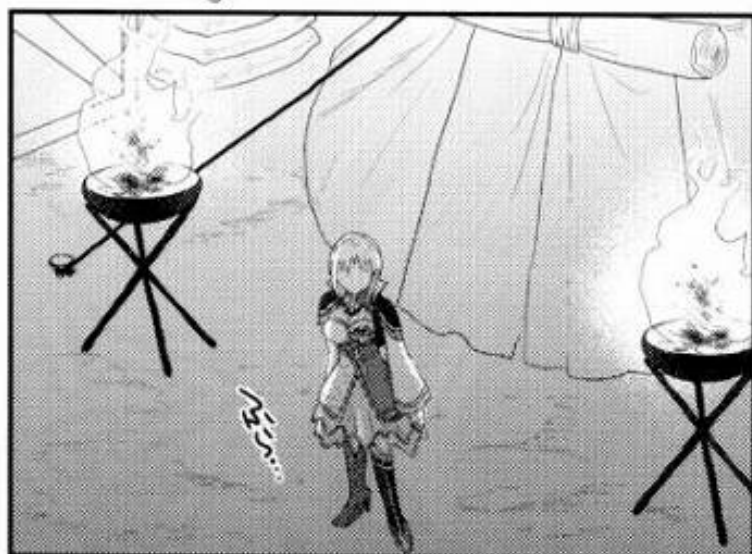
熱くて
気持ちいいでしょう…



イキましたか？

鍾会殿…♡

ん…♡



逃げる…？
……

馬さえ
奪えれば…！

……？

今なら
逃げられる…！

もう何も思い出せない…



何か大切な事を
忘れてしまった気がするけど



…姫…

元姫!

二人でたっぷり
可愛がってあげますよ…
一晩中ね…



今夜は姜維殿も
呼んであります

こんな所で
フラフラしていると
風邪をひきますよ

元姫殿



何も
思い出せなくていい



私の身体は…



だって
私は…

この本を手を取って下さってありがとうございました。栗布団の佐倉まふみと申します。

無双6プレイした時はふっくんくらいに思っていた鍾会×元姫でしたが猛将伝で確信を持ったので描いてしまいました…！前の本が慣れないラブラブもので、力加減が大変難しかったです。今回はフルパワーで描けて楽しかったです。凌辱…大好きです…。

元姫たんをどこまで堕とすか悩んだんですが、オチがまとまらなかったのがこうになりました。ワタシ的には最後までいやいや言ってくれる方が萌えるんですが…。そういう本も描きます！いつか！

しかし鍾会殿の服ホントわけわからないです。お腹の鎧？みたいなもの、あれ金属なんだとしたら前屈出来ないじゃないですか…。まあ今回はかなり早着替えさせたので作画的には楽でした。司馬昭に比べたらホント楽でした（まだ根に持ってる）。

次は多分諸葛誕殿が（ダメな方向に）活躍する本になります。他に、元姫たんに生える本とか輪姦ものとか考えてます。気にかけて下さる方はチェックしてみてください。

重複になりますが、ここまで読んで下さってありがとうございました。ご縁があったらお会い出来たら嬉しいです。



発行：栗布団
著者：佐倉 まふみ
印刷：丸正インキ
発行日：2011年12月31日

kuributon@mail.goo.ne.jp
<http://www.k5.dion.ne.jp/~mutoyori/>
<http://www.pixiv.net/member.php?id=1122863>

BGM：伊藤かな恵ちゃんアルバム。元姫たんが歌ってるみたいでキュンとします…！



熱くて...濃いのが
すし勢いで
流れ込んでくる

声...っ
我儘...っ

元姫のいやらし
トトロオマ
鐘会殿のチホ
ぶちこんで

SRU...

おま
おま
おま

オマ○○○○...

私のなか...

おま
おま
おま

三国探しても
こんな事の出来る女は
いませんよ元姫殿...